

女性活躍推進フォーラム 第1回

実践的な講義、討議 先輩が激励 「絶対有意義」

人材育成委員会主催、今年度第1回の「女性活躍推進フォーラムin東京」が5月26日、東京・日本橋三洋グループビル8階会議室で開かれた。同フォーラムは今年で3年目。ホールを中心に会員企業14社から女性正規社員19人が参加した。

全員が初

対面なので、名刺交換して気分をほぐした。実務に役立つセミナーでは、ホールの研修・教育・実践指導を行っているデライト・コミュニケーション

ズ、守屋擁さんが「ロジカルシンキング」と題して講演した。守屋さんは、「ロジカルシンキングとは順序立てて話すこと。筋道が通って分かります。企画の提案、プレゼン、商品説明、日常のホウ・レン・ソウ、仕事の段取りなどあらゆる場面で役に立ちます。ポイントはず先ずゴールを決め、そこから逆に話を組み立てる。そうすれば無駄なことも避けられる」として、いくつものゲームや問題を出してロジカルな思考法、情報の整理法をコーチした。

一年目のフォーラムで最優秀賞を受けたグループのリーダーだった森谷文子さんが登壇、当時を振り返った。「最初、会社からフォーラムに行つて来いといわれたとき、『なんで私が……』と不安と不満がありました。皆さんも今は、企画についてどうしたら

いいか見当がつかないと思います。でも、こういう企画にしたいと前向きに貫き通せば、やっていても楽しくなるし、フォーラムが終わったときには、皆さん絶対に何かをわかっています」と断言、3期生々にエールを送った。

グループディスカッションで、19人は4グループ(4〜5人)に分かれ、割り振られた2つのテーマ(「キャリアアップランニング」「ワーク・ライフ・バランス」)の中でこれから実現したい企画を絞り、今後の進め方などを協議した。最後に場所を変えて懇親会が開かれた。「フォーラムin東京」は今回と7月14日、10月13日、来年1月26日の計4回開かれ、19人は4回を通して参加する。最終回に成果を発表し、出来上がった企画を各自が持ち帰って自社の風土を変えていくことが目標の1つとなっている。さらに毎回、実務に役立つセミナーを聴講し、企画づくりや懇親会を通じて他社の女性社員たちとの人脈ネットワークをつくる。

□4グループのテーマと参加者

(順不同、敬称略、(株)略)

Aグループ「キャリアアップランニング」殿村愛美(ABC)、保岡笑

講演を聴いたり、グループディスカッションで、テーマに沿って企画内容を決める



(東和産業)、中村千佳(NEXUS)、山田亜希子(メッセ・ゴー)

Bグループ「同」池尻有花(オータ)、工藤えり(ジャパンニューラルファ)、中島友恵(ピーアークホールディングス)、関谷奈菜(平成観光)、高橋親知佳(安田屋)

Cグループ「ワーク・ライフ・バランス」山岡涼音(善都)、軍司桃子(東和産業)、戸田麻里奈(ニラク)、村岡美奈(マルハン)、北瀬杏奈(安田屋)

Dグループ「同」古畑由菜(アサヒデイド)、鈴木小百合(ABC)、長嶋よしえ(オータ)、安里円(東和産業)、安田弥生(日拓ホーム)



守屋擁さん



森谷文子さん



19人の参加者たちと補佐する人材育成委員会等のメンバーたち。前列右端は前田同委員会委員長。同左端は佐藤聖子広報調査委員会副委員長